

動物たちとの ふれあい

9月23日 動物フェスティバル



主な内容

保育園・小中学校の統合計画を
お知らせします… 2～4
市長から市民のみなさまへ…………… 5

保育園児を募集します…………… 6～7
「美しい島 佐渡」への取り組み …… 8～11

など

佐渡市の将来を担う

園児・児童・生徒の健全な保育・教育のため

市町村合併からはや2年の歳月が経過しました。合併後も少子高齢化が進み、出生数も下降をたどり平成17年では412人となっています。このような現状から、佐渡市の保育園・小学校・中学校の将来はどうあるべきかについて一昨年から検討を進めてきました。

「次世代育成支援対策推進協議会 保育園統合検討委員会」からの報告、「佐渡市学校教育環境整備検討委員会」からの答申を元に統合計画の素案を作成しました。今年はこの素案について、「佐渡市議会行財政改革特別委員会」からの意見をいただき、「佐渡市保育園・小学校・中学校統合計画」を策定しましたので、お知らせします。

保育園統合計画

子どもたちが健やかにたくましく育つ、佐渡の地域性を生かした環境づくりを願い、保育園統合を計画しました

保育園の現状と統合を進める理由

現在市内には公立30園、へき地5園、私立3園あります。佐渡市では少子化が進み出生数も下降をたどる中、保育園の多くが定員割れをし、園児数が10人以下の園や混合保育を実施している現状があります。

こうしたことから、その時々にあった保育が可能となるように、また保育

効果や安全管理の面からも適正規模の施設に統合を進め、設備面や保育環境の均衡化を図ることが必要となっています。

また統合と同時に、一時保育や乳児保育などの保育ニーズにも応えていくことも保育施設の重要な役割と認識し、施策の展開を図っていきます。



保育園の統合計画

公立30園をおおむね16園に
へき地5園をおおむね2園に

公立	へき地	統合計画	
		平成18～23年	平成24～29年
両津地区 9園		おおむね 5園へ	おおむね 4園へ
	両津地区 4園	おおむね 2園へ	
相川地区 4園		おおむね 3園へ	おおむね 2園へ
佐和田地区 4園			おおむね 2園へ
金井地区 3園			1園へ
新穂地区 1園			
畑野地区 4園		おおむね 2園へ	
真野地区 2園			
小木、羽茂 赤泊地区 3園	赤泊地区 1園		おおむね 3園 ないしは 2園へ
30園	5園	公立 へき地	おおむね16園へ おおむね 2園へ

佐渡市の出生数

新潟県人口移動報告より
(10月1日現在)

	人口	出生数
平成 17 年	67,917人	412人
平成 16 年	69,803人	426人
平成 15 年	70,674人	454人
平成 14 年	71,528人	498人
平成 13 年	72,173人	554人

小学校・中学校 学校統合計画

子どもたちの教育環境を良くするため学校統合を計画しています

小・中学校の現状と統合を進める理由

【小学校の現状と予測】

平成18年度の小学校数は36校と分校1校で3346人の児童が学んでいます。近年は少子化の影響で著しい児童数の減少と小規模校化が進んでいます。

現在、複式学級がある学校は14校あり、そのほとんどが全校児童数30名に満たない規模となっています。この状況は将来さらに進み、5年後の平成23年には、児童数は2919人（427人減）、複式学級をかかえる学校は19校に増加することが予測されます。

【中学校の現状と予測】

平成18年の中学校数は16校で1821人の生徒が学んでいます。複式学級を持つ学校は1校ですが、小学校と同じく生徒数が減少し学校規模が年々小さくなっていくと想定されます。平成29年には生徒数は1348人（473人減）、複式学級がある中学校は4校となることが予測されます。

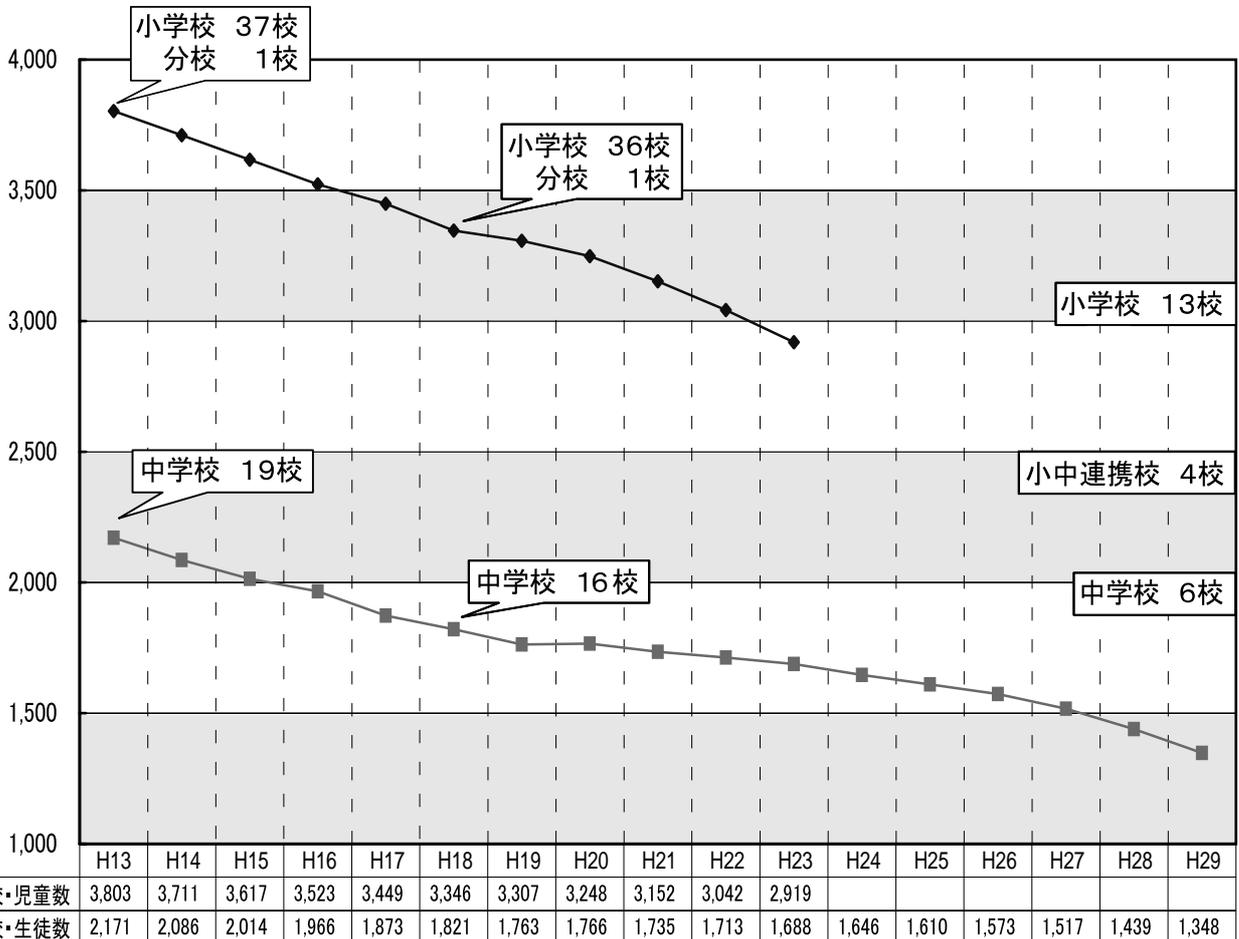
【統合を進める理由】

児童、生徒数の減少が影響し、施設や設備、教職員の配置で格差がさらに顕著となり、教育環境の整備が急務となってきました。より良い教育環境を整備し、魅力ある学校づくりを推進するためには、小・中学校の適正規模・適正配置を確保し、指導体制や施設・設備の充実を図ることが必要です。

小学校・中学校の統合を計画的に進め、学校での学習活動、文化活動、体育活動において切磋琢磨できる環境を整備することが、佐渡市の子どもの未来のために不可欠であると考えられています。



児童生徒数の推移と統合計画





【学校統合の方針】

統合は、十分な教育効果(複式学級の解消)をあげることが最大の目標として行うものでありますが、さまざまな条件下の学校が対象になること、協議にも相当の期間が必要であることから、期間は、小中学校とも前期および後期に区分して進めます。

しかし、中学校は中高一貫校の問題があり、どの高等学校で実施されるかによって統合計画に影響を与えるので慎重に扱わなければなりません。また、学校は地域の文化・体育の中心となっている面もあるため推進にあたっては十分な理解と協力を得て進めます。

基本的事項

【小学校】

1学年1学級の普通学級6学級以上の規模を基本とします。
 通学時間・距離や地域とのつながりおよび適正規模を重視します。

通学距離はスクールバス等でおむね30分程度を目安とします。

【中学校】

1学年2学級の普通学級6学級以上の規模を基本とします。

社会性を育むことを重視します。

通学距離はスクールバス等でおむね50分程度を目安とします。

共通事項

地理的条件等で統合が困難な学校は、特色ある学校(小中連携校)として持続します。市内では小中学校ともおむね4校を目安とします。

小中学校の統合計画

小学校 (数字は統合後のおおむねの校数)

地区名	小学校名	校数
両津	両尾、河崎、両津、両津吉井、加茂、馬首(前)、蒲川(前)	7校を3校に
相川	相川、七浦、金泉	3校を1校に
佐和田	沢根、河原田、八幡、二宮	4校を2校に
金井	金井、金井吉井	2校を1校に
新穂	新穂、行谷	2校を1校に
畑野	畑野、後山、小倉(前)	3校を1校に
真野	真野、西三川、西三川笹川分校(前)	2校1分校を1校に
小木	小木、深浦(前)	2校を1校に
羽茂	羽茂、大滝(前)、小村(前)	3校を1校に
赤泊	赤泊、川茂(前)	2校を1校に
		30校1分校を13校に

中学校 (数字は統合後のおおむねの校数)

中学校名	校数
東、南、北(前) 両津地区	3校を1校に
相川	1校
佐和田	1校
金井、新穂、畑野、真野	4校を2校に
小木、羽茂、赤泊	3校を1校に
12校を6校に	

小中連携校 (数字は統合後のおおむねの校数)

小中連携校として存続(前)	校数
内海府中、内海府小	4校に
高千中、高千小	
松ヶ崎中、松ヶ崎小	
前浜中、岩首小・野浦小・片野尾小	

(前)は前期(平成18年度～23年度)にそれ以外は後期に統合を進めるものです。
 産学校改築にかかる統合については、前期・後期にかかわらず改築と平行して進めます。
 産社会基盤の整備等により状況が大幅に変化したときは、計画の見直しを含めて検討することとします。



時代を超えた市民との認識の共有化のために

9月議会が先月26日に終わりました。今回も行政改革についていろいろご議論いただきました。2年半前、佐渡市が合併するとき、多くの議論の中で合併後の財政計画に基づき合併特例債を使った多くの事業が提案されました。各市町村別に多くの希望が寄せられていましたし、地域によっては住民との間で議論され、それが条件で合併がなされたような雰囲気もあったことは十分理解しています。

しかし、合併議論の最中にも国の事情は大きく変わりました。それまでの各市町村の行き詰った財政を一举に解決できるのでは、と合併によせる期待が大きすぎたのも事実で、合併後に、旧体制の隠れて見えなかった問題もあらわになってきました。

そこで当時、議会からも厳しい批判を受け、現状を直視し、孫子の代まで健全な財政を譲り渡すことが我々の責務であると考え、財政計画を現実にあわせて計算しなおしました。その結果、建設計画も2度にわたり見直し、将来に備えたところです。

しかし、その後も思いもかけないアスベスト問題が持ち上がり、除去工事や両津文化会館の大改修、相川の佐渡

会館閉鎖と改築問題、突然問題化した国仲し尿処理施設の寿命が限界に来ていた状況や、特例債事業に当初計画に組み込んでいなかった国営灌漑排水工事の負担金問題など、難問は山積しています。

これらに対応するには、県内の市の中で、最も財政力が弱く、反面、人口一人当たりでは最も多額となっている人件費負担を軽減するために思い切った人件費削減計画や人事評価などを通じて、効率よい市民サービスの提供に努めなければなりません。

また、市民の声を市政に正しく反映させるために、各種の事務事業評価システムを作り上げ、情報公開を進め、市民と協働して、佐渡市を活性化させる必要があります。

さらに、議会からご指摘の、2箇所の子市民病院の累積赤字対策、し尿処理場や焼却場の合理化、保育園・学校統合、多くの温泉施設をはじめ各種施設の改革に踏み込んでいかなければ、新しい事業で島の賑わいを取り戻すことはとてもできないと考えています。

今後は、議会や市民の前に現実を明らかにして、改革を実施したいと考えています。そして、この改革を成し遂げるためには市民との信頼に基づく協働

以外には無いことをご理解いただきたいと思えます。

現在の、佐渡市の各種財政指数は県内の他市に比べればまずまずですが、この後、多く計画された事業をこなしていく間に、急激に指標が悪化していくことが予想されます。財政力のきわめて弱い佐渡は、今後の交付税の動向次第で一気に窮地にたたされるといふことにもなりかねません。多くの事業を先食いした後で悪化した指標を我々の子供の時代が納得して許してくれるのか、時代を超えた市民との認識の共有が必要になってきています。

気がかりな保育園・学校の統廃合計画が市民の前に出されたことで、皆さんも現実の厳しさを認識いただけたと思います。必ずしもこの答申のとおりには統合が行われるかどうかは、これからの10年の状況によっても変わってくるかとは思われますが、このような財政的な緊迫状態で、今までと同じように住民へのサービスをするためには、同時に市民の方々にも一定の痛みを伴うことをご理解していただきたいと思います。

交通ルール遵守宣言 飲酒運転しない・させない

9月29日(金)に市長を始め1609人の職員および市の関連業務に従事する639人の職員からの誓約書を佐渡西・東警察署長の立ち会いのもと、代表職員2名より市長へ提出しました。

この誓約書は佐渡市職員の交通安全に対する意識の高揚と、飲酒運転をしない・させない「風土づくり」の推進となるよう、当市職員全員から交通ルールの遵守について誓約するものです。

また当市職員が市民の規範となるよう、更に正しい交通ルールを遵守し、安全運転を心がけるとともに、「飲酒運転をしない・させない」風土づくりを推進し、交通事故の防止に努める旨の宣言書を市長から佐渡西・東警察署長へ提出しました。



市内保育園に来年4月以降に入園を希望する児童を募集します

募集期間 11月1日(水)～11月30日(木)

保育の方針

保育園では保護者が働いているなどの理由で、家庭内において、十分保育することができない子ども(保育に欠ける児童)に対し、すこやかに社会生活を送るための基礎を身に付けさせるとともに、健康な体と豊かな心をはぐくむことを目標に保育を行います。



入園の申し込み方法

申込用紙

市内各保育園と市役所社会福祉課および各支所福祉保健課、または市民課に用意してあります(私立保育園の入園を申し込む場合も同様)。

申込期間 11月1日(水)～11月30日(木)

年度途中で保育園へ入園を予定している場合も、この期間に申し込みすることができます。

申込書の提出先

継続入園 入園中の保育園まで

新規入園 市役所または希望の保育園まで

保育時間

【通常保育】

平日 午前8時～午後4時

土曜日 午前8時～正午

【延長保育】

平日 午前7時30分～午前8時

午後4時～午後7時

土曜日 午前7時30分～午前8時

入園決定通知

平成19年2月上旬送付予定

保育料(暫定)決定通知

平成19年4月中旬送付予定

広域入園について

里帰り出産等により、市以外の保育園に入園を希望する場合は、市町村間等での協議が必要となりますので、あらかじめ申し出てください。

市内の特別保育

障害児保育

心身に障害を持つ児童を保育します。

乳児保育

1歳未満の児童を保育します。

保育料

保育料は、保護者等の課税状況に応じて算定します。

保育料の軽減

子育て支援の一環として、同一世帯の児童が2人以上入園する場合、保育料を軽減します。(3人目からは無料です。)



市内保育園一覧表

公立

	名称	所在地	電話番号	定員	乳児保育受入年齢
1	両尾保育園	佐渡市両尾1865番地1	27-7934	45	乳児保育なし
2	河崎保育園	佐渡市下久知2218番地	27-7804	45	乳児保育なし
3	椎崎保育園	佐渡市原黒169番地	27-5523	45	乳児保育なし
4	湊保育園	佐渡市両津湊212番地	27-2407	90	生後6か月を過ぎた翌月から
5	夷保育園	佐渡市両津夷347番地	27-3403	70	乳児保育なし
6	歌代保育園	佐渡市加茂歌代904番地1	27-6011	45	乳児保育なし
7	吉井保育園	佐渡市上横山723番地3	27-6446	45	生後6か月を過ぎた翌月から
8	梅津保育園	佐渡市梅津2341番地1	27-2824	90	生後6か月を過ぎた翌月から
9	羽吉保育園	佐渡市羽吉1198番地	27-5835	30	乳児保育なし
10	北狄保育園	佐渡市北狄928番地	75-2102	20	平成19年3月末で廃園を協議中
11	稲鯨保育園	佐渡市橋30番地2	76-2710	45	生後6か月を過ぎた翌月から
12	たかち保育園	佐渡市高千1011番地	78-2152	30	生後6か月を過ぎた翌月から
13	相川保育園	佐渡市相川南沢町158番地	74-2244	90	生後6か月を過ぎた翌月から
14	河原田保育園	佐渡市中原479番地1	52-2247	90	生後6か月を過ぎた翌月から
15	双葉保育園	佐渡市東大通8番地	57-2818	120	生後6か月を過ぎた翌月から
16	八幡保育園	佐渡市八幡1533番地2	52-2680	60	生後6か月を過ぎた翌月から
17	沢根保育園	佐渡市沢根五十里1402番地1	52-6613	60	生後6か月を過ぎた翌月から
18	金井保育園	佐渡市千種230番地	63-2227	110	生後6か月を過ぎた翌月から
19	中興保育園	佐渡市中興乙694番地	63-2905	45	生後6か月を過ぎた翌月から
20	金井新保保育園	佐渡市金井新保乙1107番地1	63-3029	60	生後6か月を過ぎた翌月から
21	新穂トキッ子保育園	佐渡市新穂瓜生屋359番地1	22-2148	150	生後6か月を過ぎた翌月から
22	畑野保育園	佐渡市畑野甲518番地1	66-2082	95	生後6か月を過ぎた翌月から
23	川西保育園	佐渡市宮川1060番地1	66-2463	60	生後6か月を過ぎた翌月から
24	小倉保育園	佐渡市小倉乙948番地3	66-2364	30	乳児保育なし
25	多田保育園	佐渡市多田979番地2	67-2272	20	生後6か月を過ぎた翌月から
26	真野第1保育園	佐渡市吉岡912番地1	55-2133	180	生後6か月を過ぎた翌月から
27	真野第2保育園	佐渡市田切須275番地1	58-2235	20	乳児保育なし
28	小木保育園	佐渡市小木町1522番地	86-2153	90	生後6か月を過ぎた翌月から
29	羽茂保育園	佐渡市羽茂本郷1630番地	88-2355	120	生後6か月を過ぎた翌月から
30	赤泊保育園	佐渡市赤泊282番地3	87-2379	90	生後6か月を過ぎた翌月から

私立

	名称	所在地	電話番号	定員	開所・閉所時間	乳児保育受入年齢
1	姫津保育園	佐渡市姫津259番地	75-2120	45	7:30～18:00 (土曜日は11時30分まで)	生後3か月を過ぎた翌月から
2	平泉保育園	佐渡市泉甲507番地4	63-2024	90	7:15～19:15 (土曜日は18時まで)	産休明けから
3	吉井隣保館	佐渡市吉井本郷480	63-6898	60	7:30～18:00 (土曜日は原則正午まで)	生後6か月を過ぎた翌月から

へき地

	名称	所在地	電話番号	定員	乳児保育受入年齢
1	水津保育園	佐渡市水津126番地2	29-2153	30	乳児保育なし
2	浦川保育園	佐渡市浦川265番地	25-2494	30	乳児保育なし
3	海府保育園	佐渡市鷲崎926番地	26-2003	35	乳児保育なし
4	川茂保育園	佐渡市下川茂137番地1	87-2412	30	生後6か月を過ぎた翌月から

豊岡保育園は平成19年3月末で休園

定員の都合により、新年度の入園をお受けできない園もありますので、市役所社会福祉課児童福祉係または各支所福祉保健課(市民課) 保育園にお問い合わせください。

社会福祉課児童福祉係	幕63-5113(内線295)	畑野支所市民課福祉保健係	幕66-3112(内線221)
両津支所福祉保健課福祉係	幕27-6114(内線122)	真野支所市民課福祉保健係	幕55-3111(内線121)
相川支所福祉保健課福祉係	幕74-0339(内線134)	小木支所市民課福祉保健係	幕86-1111(内線141)
佐和田支所福祉保健課福祉係	幕57-8114(内線129)	羽茂支所市民課福祉保健係	幕88-3111(内線133)
新穂支所市民課福祉保健係	幕22-3114(内線131)	赤泊支所市民課福祉保健係	幕87-3111(内線122)

